

ぐ ん ま け ん り つ お ぜ こ う と う が っ こ う

群馬県立尾瀬高等学校

～ 自然と共生できる人づくりが地域を支える！ ～



シラネアオイ移植



環境省との連携によるシカ防御柵設置



地域との交流 道の駅尾瀬かたしな

コミュニティ・地産地消

環境保全

学生・若者の活躍

関係人口の創出



ぬまたし かたしなむら

所在地:群馬県沼田市・片品村

概要

- 高齢化が進む中山間部地域の活性化と自然保護の意義を広め、普及することが課題。
- 平成8年に尾瀬ヶ原を中心とした周辺地域の自然環境をフィールドワークとした「自然環境科」を全国で初めて設置。
- この「探究的な学び」を受けたい子どもたちを全国から募集している。その受け入れのために地元家庭等へのホームステイ制度「尾瀬ハートフルホーム・システム」を整備。

成果

- 地元団体との協働によりシラネアオイ保護活動を30年以上行っているほか、水芭蕉の栽培・育成を行う「水芭蕉プロジェクト」では地元企業と連携している。
- 「自然と共生」を担う人材育成を通じて、机上の学びだけでは得にくい非認知能力等が向上。
- 柔軟なアイデアと実践活動により地域を元気にし、卒業生の多くが地域活性化のために活躍。
- ホームステイ制度により毎年10名前後の生徒が全国各地から入学。生徒とその家族にとって、本地域が「第2のふるさと」となり、関係人口の創出に貢献。